

# 外科

研修医

山下 裕美子

▶出身地  
▶出身大学

栃木県  
新潟大学



当院の外科は手術件数、症例のバリエーション共に豊富で外科医を目指す人にとっては**これ以上ない環境です**。もちろんまだ進路が決まっていない人でも、研修医として多くの経験を積むことができます！日々の手技はもちろんのこと、ときには執刀することも。忙しい毎日ですが先生方はその都度丁寧に指導してくださいます。充実した研修生活を送れること**間違いなしです**。

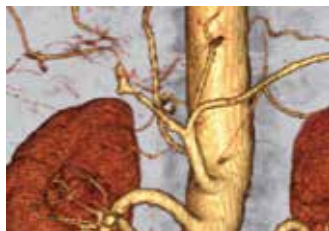
## ▶▶▶術後患者急変

出題

外科指導医

新国 恵也 / 河内 保之

脾頭十二指腸切除術後5日目脾空腸吻合部ドレーンから感染性の排液、8日目ドレーン交換、造影で脾空腸吻合部腹腔内膿瘍を認めた。11日目突然ドレーンから200gの出血があり、血圧76/34mmHg、緊急CTを行うと肝動脈壁の不整を認め、出血源と考えられた(図)。検査後出血の増加はなく、血圧142/86mmHgと回復した。どうする？



- a. 肝動脈の動脈硬化があり、生活習慣を改める。
- b. 降圧剤を使用し、血圧をコントロールする。
- c. ドレーンの入れ替えに伴う出血であり、ドレーンを抜去する。
- d. 緊急手術を行う。
- e. 緊急アンギオ、肝動脈塞栓術を行う。



# 整形外科

研修医

久保田 解

▶出身地  
▶出身大学

群馬県  
新潟大学



**肩脱臼？はめましょう。**  
**骨折？整復しましょう。**  
救急外来でも手術室でも、  
整形外科では毎日手技・手術が多数！  
歩けなかった患者さんが歩いて帰る感動を、  
**一緒に感じましょう！**

## ▶▶▶手のしびれ、歩行障害の1例

出題

整形外科指導医

矢尻 洋一

症例) 55歳 女性

7か月前から特に誘因なく両手のしびれを自覚。徐々に手が上手に使えなくなり、1か月前から歩行時のふらつきがあり、杖歩行となる。当科初診時は車椅子で受診した。両上肢は肩から手先のしびれあり、筋力；上肢MMT4+から3 下肢5-から4 上下肢の反射亢進、両下肢clonus 陽性。

頚椎単純レントゲン写真 頚椎MRI像を示す。

- 1) 診断は？
- 2) 治療法は？

